



みなさん、こんにちは(^_^)

この度、新型コロナウイルス感染症による影響を受けられている皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

一日も早くこの事態が終息し、平穏な生活を取り戻せるよう心から願っております。



【お知らせ】

EMU運行及び立山黒部ジオパーク交流施設「うなジオ」は、新型コロナの緊急事態宣言発令のため、5月6日(振・水)まで運休及び閉館となります。

なお、状況により延長となる可能性もあります。

また、「うなジオ」におけるジオガイド常駐は、6月末まで休止としています。

アースデイ(地球の日)

アースデイ(地球の日)は、地球環境について考える日として提案された記念日です。4月22日のアースデイが広く知られています。

1968年12月24日、アポロ8号の宇宙飛行士が月から昇る地球の姿「アースライズ(地球の出)」を撮影します。人類が地球を外から見たのはこのときが初めてです。アースライズ以降、さまざまな意識改革が起き、地球全体を「ひとつの生命圏」としてとらえて保全していこうという、新しい環境運動が始まっています。

そして、このアースライズから15カ月後、世界最初の「アースデイ(地球の日)」がアメリカで誕生します。G・ネルソンという上院議員の「環境の日が必要だ」という発言に呼応したのが、スタンフォード大学に通うひとりの学生、デニス・ヘイズ。デニス「『母の日』や『父の日』があるのに『地球の日』がないなんておかしい」と呼びかけ、4月22日水曜という平日の“なんでもない日”を「地球の日」としたのです。



「アースライズ(地球の出)」Wikipediaより

裏面もあります、見てくださいね♥

わたしたちの暮らしと地球温暖化 その40



今年3月6日に、富山県、(公財)とやま環境財団、富山県婦人会及び富山県消費者協会は、2050年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロにすることを旨とする「とやまゼロカーボン推進宣言」の共同宣言を行いました。県内市町村では、2月24日に魚津市が「ゼロカーボンシティ」を表明しています。

ゼロカーボンシティはCO2を全く排出しないのでは無く、CO2排出を抑えるとともに森林等でCO2吸収を図ることで実質の排出量をゼロにするものです。

2018年にIPCC(国連の気候変動に関する政府間パネル)の特別報告書において、「気温上昇を2度よりリスクの低い1.5度に抑えるためには、2050年までにCO2の実質排出量をゼロにすることが必要」と記載されています。そうした中、東京都・山梨県・横浜市・京都市などから始まった、日本の自治体による2050年までのCO2排出量の実質ゼロ(ゼロカーボンシティ)表明が、昨年から行われてきており、4月1日時点では、下図の通りになっています。

実質排出量をゼロにすることは、簡単なことではないと思います。目標を掲げ、あらゆる立場の人々が一丸となって取り組むことが重要となってきます。

